

社会もスポーツも同じ。 思いやりと支え合いが大事だから

とても来年3月で定年を迎えるとは思えないその若々しさは、金城学院から与えられたものだとおっしゃる桑原先生。体育教師、バスケットボール部顧問、そして生活指導責任者という立場から生徒を見守ってこられた40年もの年月の中で、学院、子どもたち、そしてご自身がどんな変化を遂げてきたかを振り返っていただきました。



金城学院高等学校
しげより

桑原 成順 教諭

- 愛知教育大学保健体育科卒業
- 公立小学校勤務後、金城学院中学校・高等学校保健体育教諭に就任
- 愛知県バスケットボール協会理事、愛知私学協会教科研究保健体育主任、愛知県体育館スポーツ教室協会理事

校風や雰囲気に魅せられて

金城学院との関係は、私が愛知学芸大学（現教育大学）2年生のとき、当時、金城のバスケットボール部のコーチをしていた先輩から後を引き継いでくれ、と命令……。ではなく、頼まれたことから始まりました。

最初は中学、しばらくして高校で指導をしましたが、大学卒業後、一旦は公立小学校に勤めました。

しかしそれから1年もしないうちに、金城学院から専任の体育教師が必要と請われたことで、ふたつ返事

で行くことに決めたのです。金城学院の校風や雰囲気に魅せられたというのが大きかったですね。

実は私は、学校初の男性の体育教師なんです。最初のころは、若い男性ということで校内では話題になりましたよ（笑）。

こうして金城学院にやって来たのが1967年の4月で、それから中学で20年、高校で12年、中学に戻って4年、そして再び高校で5年。今年でもう41年目です。

部活動から得られる貴重な糧

さて、私が顧問を務めるバスケットボール部のことですが、成績については……。まあ愛知県というのが非常に強豪の多い激戦区ということもあり、目立った結果を残すのはとても難しいですね。とにかくミニバスケから実業団のレベルまで、輝かしい実績を残しているチームが多い。余談ですが、私の出身校である守山中学校は、80年代に全国中学校大会で8連覇しています。

ただ、指導者としては、最近はさらに難しくなってきましたね。自分自身がいろいろ役目を仰せつかっているため前ほど細かく指導できなくなってきていることもありますし、何よりも部員数が年々減ってきています。現在の生徒たちには、ちょっとしたでもキツイスポーツを嫌がる傾向がありますからね。

チーム強化は別として、部活動で勝ち負けを通して喜びや悔しさを味わい、人との付き合い方を学ぶことは、成長段階の彼女たちにはとても大事なことなのです。同級生、先輩・後輩との付き合い、そして先生に叱られたりすることもです。

勉強はもちろん大事、それは大前提ですが、それだけではなく、いろいろな経験、それも四苦八苦して前に進むという人生経験を積むべきだと、私は考えています。

私の場合、中学、高校、大学と、バスケットボール部でキャプテンを務めさせてもらったことで、後の人生の糧にすることができました。

ちなみに1971年に、愛知県代表として全国教員大会に優勝しました。もっとも私はレギュラーではありませんでしたが……。しかしチーム最年長ということで表彰状を受け取る栄誉にあずかれました(笑)。

言うだけじゃなく、行動へ

私は、中学で4年、高校で5年、生徒課長を務めています。要するに生活指導を担当しているわけですが、話に聞く他校の状況と比べれば、それほど苦労させられたということは

ありませんね。

この40年を振り返っても、生徒の印象はあまり変わりません。ガツガツしていない、というか、おっとりしているというか。これは良い点だと個人的には思っているのですが、覇気がない、消極的という具合に悪く見ることもできます。

気になったのは、ある陸上競技会で、必死に走っている選手の形相を見て笑ってしまう生徒がたくさんいたこと。人に対する配慮や、人の気持ちを汲むという姿勢が少し欠けているように見受けられました。一生懸命やまじめがかっこ悪いという風潮は、テレビ等の影響も多分にあるので、これは良いことじゃありませんね。

生徒課長としての私のやり方は、担任の先生以上に私が生徒の生活面を厳しく注意し、ある意味、悪役を演じるというものです。ただ生徒たちは言うだけでは納得しません。教師みずから、しっかり授業をやり、部活をやり、手本を示すことで、初めて言うことを聞くのです。

それから、私の授業について言うならば、最初は緊張感を持って、終わりは笑顔で和やかに、という感じ。ここ4、5年で、ようやくこれが確立できたわけですが、せっかくでき



身長168cm・体重64kgの体型は大学を卒業したときから変化なし。若さの秘訣は「毎授業でのストレッチ、ウォーキング、そして適度な食事」

たと思ったら、もう来年3月で終わってしまう(笑)。とはいえ、若いときにこのように授業をやるのは簡単じゃないですよ。

残りの教員生活については、もう生徒にはあまりガミガミ言いたくないのが正直なところですが、本音はさておき、職務をしっかりとしようと思っています。

最後に、生徒たちに言いたいのは「神を愛する、人を愛する」。そして思いやりを大切にしてほしい。スポーツも社会もそうですが、人への思いやりと支え合いが大事なのです。そしてもうひとつ、言うだけじゃなく、これを行動に移すことも忘れないでください。

桑原先生はこんな人



最初に見たとき、怖そうな先生だな、と思ったけど、見た目どおりで、やっぱり厳しい先生でした(笑)。でも、ふだんは冗談も言ったりするんですよ。ただ、その内容が、私たちには難しすぎて、冗談なのかどうか、分からなかったりするんです。年代のギャップかな(笑)。

練習は、他校と比べれば、全然キツくないんでしょうが、この学校の中の他の部と比べれば、明らかに一番厳しいものだったと思います。

それでも、学校の中では一番長く接していた先生で、とても親近感を抱いていますし、いつも生徒のことを思って指導して下さったことに対して、本当に感謝しています。

バスケットボール部の皆さんとともに